

愛媛県蓮乗寺川で採集されたムツハアリアケガニ

山川宇宙¹・山下龍之丞²・清水孝昭³

¹筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻

²東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科応用環境システム学専攻

³愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Camptandrium sexdentatum* ムツハアリアケガニ (TKPM-AR 3312)

種の記録

Camptandriidae ムツハアリアケガニ科

Camptandrium sexdentatum Stimpson, 1858

ムツハアリアケガニ (写真 1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本 (TKPM-AR) 3312, 1♂, 甲長 6.5mm, 甲幅 8.0mm, 蓮乗寺川 (御荘湾流入河川, 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城), 2025 年 4 月 15 日, 山川宇宙採集.

種の特徴

甲は六角形に近く, やや横長. 心域等には隆起がある. 前側縁に眼窩外歯を含めて 3 歯をもつ. 甲や脚は長毛に覆われる. 雄の第 1 腹肢は非常に長く, 先端は二又する. 以上の特徴が, 三浦 (2008) のムツハアリアケガニの標徴と一致したため, 本種に同定された.

備考

本種は, 国内では宮城県以南の軟泥質の干潟に生息する (逸見, 2012). 愛媛県では絶滅危惧 1 類 (CR + EN) に選定され (大森, 2014), 西条市周辺, 松山市と伊予郡松前町の境を流れる重信川河口, 愛南町の御荘湾から, 標本の有無は不明な状態で記録されている (和田, 1996; 環境省自然環境局生物多様性センター, 2005; 経済産業省, 2018). 本稿は本種の標本に基づく愛南町初記録となる. 上記標本は, 蓮乗寺川河口に架かる松島橋の橋脚

周りに僅かにあった軟泥底から採集された. 同河川や御荘湾には他にも軟泥底の地点が存在するが, 第 1 著者の調査時に本種が確認された地点は上記 1 地点のみであり, 生息に好適な環境は限られている可能性がある. 今後, 本種の保全のために, 本県全域の軟泥環境にて調査を実施し, 本種の微小生息環境を明らかにすると同時に, 詳細な分布を把握することが望まれる.

謝辞

標本の登録を行っていただいた徳島県立博物館の鈴木佑弥学芸員, 文献収集にご協力いただいた西条自然学校の山本貴仁氏, みちのくベントス研究所の鈴木孝男博士に深謝する.

引用文献

- 逸見泰久. 2012. ムツハアリアケガニ. 日本ベントス学会 (編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野. 207.
- 環境省自然環境局 生物多様性センター. 2005. 生物多様性調査 種の多様性調査 (愛媛県) 報告書. 環境省自然環境局 生物多様性センター, 富士吉田. 230pp.
- 経済産業省. 2018. 四国電力株式会社 西条発電所 1 号機リブレース計画 環境影響評価準備書に係る審査書. 経済産業省, 東京. 60pp.
- 三浦知之. 2008. 干潟の生きもの図鑑. 南方新社, 鹿児島. 197pp.
- 大森浩二. 2014. ムツハアリアケガニ (https://www.pref.ehime.jp/reddatabook2014/detail/08_03_003590_6.html, 2025 年 4 月 29 日参照).
- 和田恵次. 1996. 7) 節足動物. 花輪伸一・佐久間浩子 (編), WWF Japan Science Report Vol. 3. World Wide Fund For Nature Japan, 東京. 74–79.

(2025 年 5 月 12 日受付, 2025 年 5 月 13 日公開)

連絡先: 山川宇宙 (e-mail: uchukawaanago@gmail.com) (Uchu Yamakawa, Ryunosuke Yamashita and Takaaki Shimizu. 2025. *Camptandrium sexdentatum* (Camptandriidae) collected from the Renjoji River, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 25009)